

# 国民健康保険保健事業実施計画を策定しました ～データヘルス計画～

## データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、保険者（市）が医療費と健診のデータを結びつけることにより、被保険者（国保加入者）の健康課題等を分析し、その課題を改善するために効率的・効果的な保健事業をPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）で行うための実施計画です。

本市においても、保健事業実施指針に基づき「常陸大宮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定し、生活習慣病対策をはじめとする国保加入者の健康増進や、重症化予防等、保健事業の実施と評価を行います。

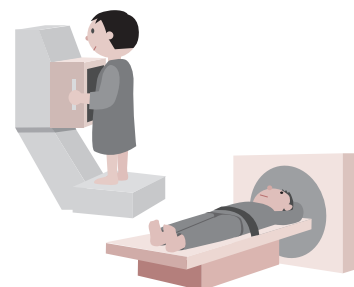
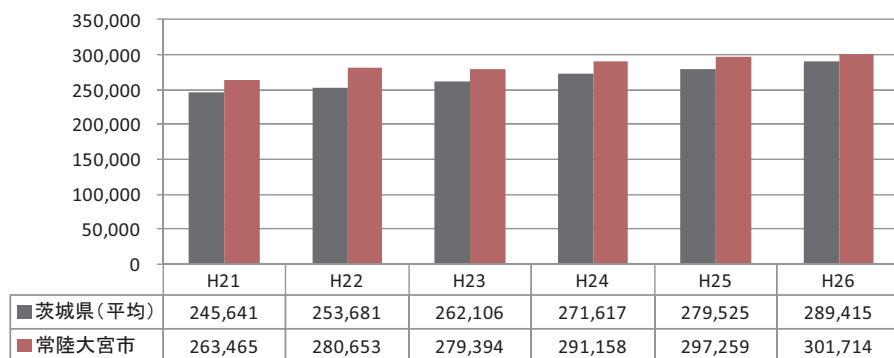
## 医療費等の分析結果からみる現状と課題

### ○一人あたりの医療費の推移

本市の国民健康保険事業においても、一人あたりの医療費は増加傾向にあるため、今後、医療費を適正化するための取り組みがますます必要になってきます。

【一人あたりの医療費：茨城県との比較】

（単位：円）



## 計画期間

第2期特定健康診査・特定保健指導実施計画との整合性から、最終年度である平成29年度までとします。

## 常陸大宮市国民健康保険の概況

国保加入世帯数 7,496世帯  
被保険者数 13,507人  
(平成27年3月31日現在)

【特定健康診査受診率】

年度	対象者数	受診者数	受診率
H24	9,439	4,829	51.2%
H25	9,476	4,853	51.2%
H26	9,355	4,721	50.5%

### ○疾病別医療費上位5疾病\*

疾病別医療費について見ると、高血圧性疾患や糖尿病といった生活習慣病関連の疾病が上位を占めていることが分かります。

100万未満は四捨五入

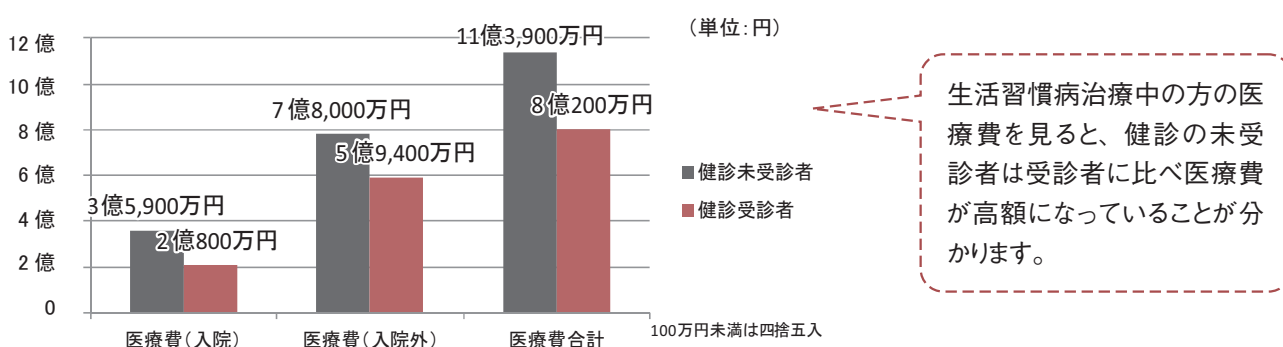
順位	中分類疾病項目	医療費	患者数
1位	高血圧性疾患	2億6,500万円	4,162人
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2億4,800万円	463人
3位	糖尿病	2億300万円	3,566人
4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症等）	1億7,600万円	4,286人
5位	その他の悪性新生物（前立腺癌等）	1億6,100万円	1,345人

### ○患者一人あたりの医療費上位5疾病\*

一人あたりの医療費で上位の腎不全は、生活習慣病の合併症として発症する可能性の高い疾病であり、人工透析等による高額な医療費が必要となります。

順位	中分類疾病項目	患者一人あたりの医療費	患者数
1位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物（直腸癌等）	592,732円	50人
2位	腎不全（急性・慢性腎不全等）	573,438円	264人
3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	535,607円	463人
4位	白血病	446,800円	26人
5位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	236,959円	11人

### ○健診未受診者と受診者の医療費の比較\*



※分析対象…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年4月～平成27年3月診療分（12カ月分）

## 実施事業と実施内容

これらの現状から、本市においても生活習慣病の対策が課題であることが分かります。

生活習慣病の発症予防や重症化予防、医療費適正化等の対策に取り組んでいく必要があることから、データヘルス計画に以下のような実施事業を定めました。

- (1) 特定健康診査未受診者対策事業《特定健診受診率向上》
- (2) 特定保健指導事業《生活習慣病予防及び生活習慣の改善》
- (3) ドック検診《人間ドック・脳ドック検診費用助成》
- (4) 重症化予防事業《脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症における病期進行防止》
- (5) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業《医療機関受診勧奨による重症化予防》
- (6) 受診行動適正化指導事業《多受診者への適正な受診指導》
- (7) ジェネリック医薬品差額通知事業《ジェネリック医薬品普及率向上及び薬剤費負担軽減》
- (8) 健康づくり事業《健康づくりに対する普及・啓発》
- (9) COPD（慢性閉塞性肺疾患）啓発・予防事業《COPDの認知度向上及び禁煙指導》

■問い合わせ■ 医療保険課 医療保険グループ ☎52-1111（内線162）  
健康推進課 [総合保健福祉センター（かがやき）内] ☎54-7121